

何でもありの軸組パネルCADを開発

ネットイーグル

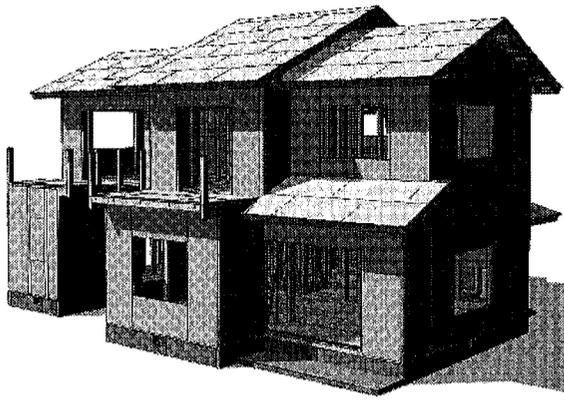
ネットイーグル(福岡市、祖父江久好社長)は木造の中・大型建築のパネルプレカット需要に対応し、木造軸組用のパネルを自由に割り付けられるCADを開発した。設計仕様が標準化されていない大型建築はパネルのプレカット化が難しく、住宅と同じルールでパネル化できる2×4に比べ生産性に課題があった。設計仕様にかかわらずパネル化できるようにすることで、木造軸組中・大型建築の生産性向上を目指す。

2×4に対抗、どんな仕様でもパネル化

開発したのは「SIパネルCAD」。従来の木造軸組パネルCADは合理化認定工法など特定の仕様で割り付けられるため、物件ごとに仕様異なる中、大型建築には利用しにくかつ

た。SIパネルCADならパネル立面上で構成部材を自由に変えられるため、どんな仕様でもパネル化できる。

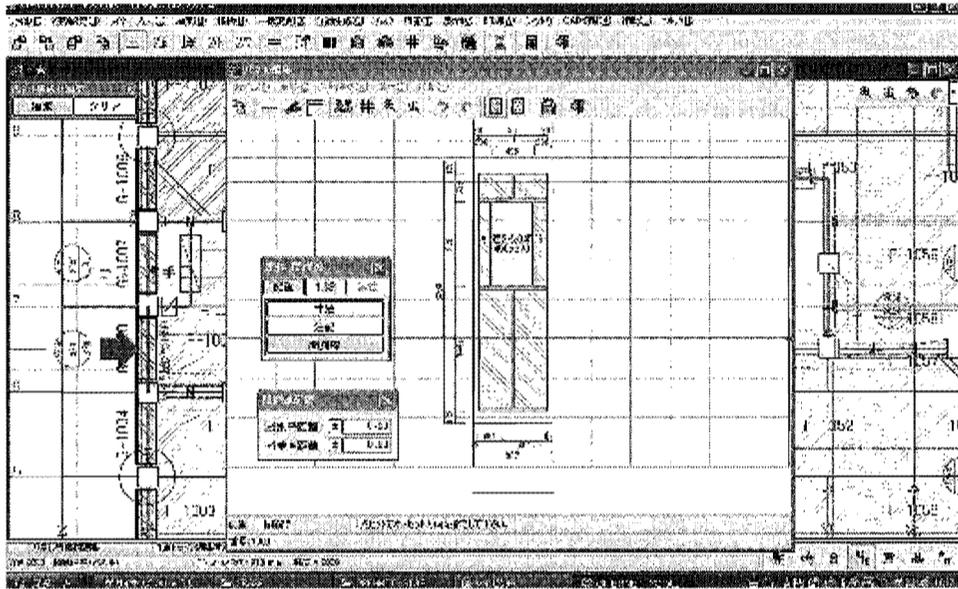
公共建築をはじめとする非住宅建築は工期が厳しく要求され、現場工事を短縮できるパネル化のニーズが高い。材料や設計が標準化されている



パース

2×4は住宅の延長上でパネル化できるが、軸組の場合はそのれができず、羽柄材でさえ現場で加工されているのが現実だ。祖父江社長は「ルールがある2×4はパネル化が容易で、工期短縮の切り札

パネル化で工期短縮、中・大型建築の競争力強化へ

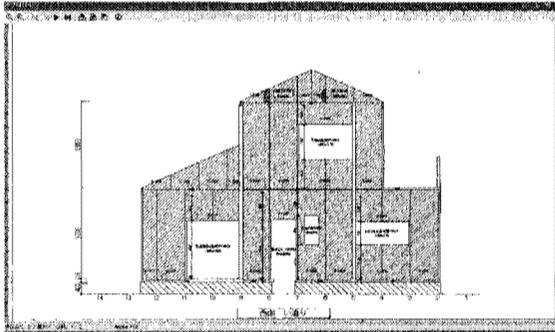


壁パネル編集

差別化として受け入れられてきた。これに対し、軸組工法は、何でもありでルールがない。だが、パネル化に対応できないと2×4に負けてしまう。SIパネルはいわば、何でもありに対応したパネルができるCADとして開発した」と説明する。

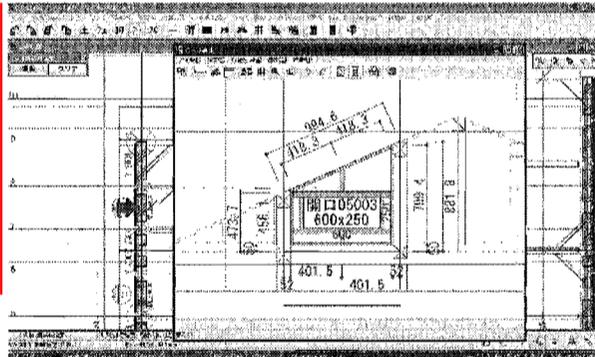
2015年問題 非住宅分野の需要開拓へ

同社が非住宅分野の競争力強化を急ぐのは消費税引き上げが予定される2015年までに非住宅分野の足がかりを作っておかない



パネル割付図

木造は鉄骨などに比べコスト競争力が高いが、納期や職人不足への対応を考えれば、パネル化が有利。住宅のプレカットが構造材から羽柄材、パネルへと広がったように、中・大型建築もいずれパネル化が進むと考えられる。「コスト削減のため



矢切パネル編集

「今年は復興需要、来年は消費税引き上げ前の駆け込み需要で一時的に住宅市場は拡大すると見られるが、15年以降は反動で一気に縮小すると考えられ

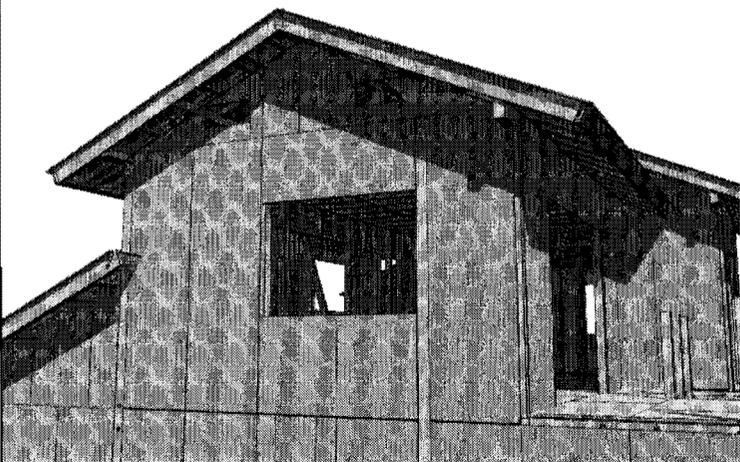
にはルール化が不可欠だが、セネコンのように木造を知らずに設計する場合が多い現状では、何でもありから始めざるを得ない。SIパネルなら今の工法で使えるパネル化のニーズに対応できる」と祖父江社長は話す。

非住宅は金融商品前定義でコスト削減へ

高齢者住宅をはじめとする非住宅建築は「投資利回りが受注を左右する金融商品」(同)で、コストが最大の競争力となる。木造は優位性を発揮しやすいが、設計が前定義化(着工前に仕様確定)できる非住宅なら、計画変更が多い住宅に比べコスト削減も図りやすい。特に大断面集成材は一品生産で精度の低い金物を標準化できれば、

ただ、世帯数がピークアウトする一方、団塊世代の高齢化により、高齢者施設は一段の拡大が予想される。プレカット工場は15年までの間に中・大型建築への取り組みをどれだけ進められるかにその後の将来がかかっている。(祖父江社長)

祖父江社長は「高齢者専用賃貸住宅は立面図がなく、オーナーとの交渉は計画図だけで進められている。住戸面積も25平方メートル以上は決められているため、縦・横の長さが決まれば材料を標準化できる。もともと非住宅は木造で建てる分野ではなかったが、耐火構造ができて初めて建てられるようになった。公共建築物等木材利用促進法ができたのもそのためだ。今できないからといって否定したら何もできない。できることから提案したい」と話す。



OPEN-NET XSTAR オプションシステム

SIパネルCAD (スケルトンインフィル)

2012年 ~プレカット業界は追い風に~
職人不足でプレカット化が加速!(サイディング等)
木材利用促進法による公共建築物の木造ニーズが本格化!
住宅政策が昨年末に復活!(エコポイント/金利優遇等)
高齢者対策で、木造耐火の介護施設が急増!

ネットイーグル株式会社

URL: <http://www.neteagle.co.jp/>



■本社
〒819-0001
福岡県福岡市西区小戸3-54-50
TEL: 050-3536-5961 (IP電話)
FAX: 092-882-7556

■中部テクノセンター
〒483-8213
愛知県江南市古知野町朝日165番地 ナガタニビル3階
TEL: 050-3538-0221 (IP電話)
FAX: 0587-53-8830

■東京CADセンター
〒108-0014
東京都港区芝4丁目3番7号 エムジー田町ビル2階
TEL: 050-3537-8851 (IP電話)
FAX: 03-5443-3800